

青少協だより

発行 令和 6年 2月29日
文責 愛別町青少年育成協議会
第181号

会員寄稿

「永遠の課題」

愛別町青少年育成協議会



副会長 蟹谷 正宏

永遠の課題。少し大げさな表現ですが、それはコミュニケーション（情報伝達や意思疎通）です。私自身、言語を使い始めて優に半世紀以上経っていますが、まだまだ解決できていない難題です。一対一の関係なら難易度は少し下がりますが、一対大勢となると激ムズです。そこで、私なりに正確に伝わりにくかった場面を二つに分類し、対処の仕方について改めてまとめてみることにしました。それが、問題（難題）解決のための課題（やるべきこと）になり、明るい見通しをもつことができるように思ったからです。

① 話したり書いたりした文章（以下、文章）に誤りや不足があった

② 文章の最後の部分が強く残りやすい方々が相手だった

①は、私自身が悩まされていることです。ネットニュースの見出しに毎日騙されます。「てにをは（助詞）」がなかったり間違ったりしている文章がなんと多いことか。子ども達の5W1Hを省略した文章にも悩まされます。興奮して伝えてくれるのはいいけれど、私の頭の中には「いつ?」「誰が?」等の疑問符がたくさん浮かびます。**正しい日本語を学ぶこと、読書を通して様々な表現を知ること**等で解決可能です。しかし、自分自身のことならいざ知らず、人様のことは私がかどうにかできる訳でもなく、難しいことです。

②は、例えば、文章全体では、褒めて励ましているのに、最後の最後で「もっと頑張らなきゃダメだね」とすると、「ダメだって言われた」と受け取られる場合です。文章は順序が大事だと痛感した事例がなんと多いことか。子育ての面でも全く同じ、

いや、むしろ子どもと接する場合こそ重要な大人側の留意事項です。伝える事柄の順番を工夫することで対処が可能ですが、日常のやりとりの中で、とっさにそれができるかというとなかなか難しいことです。

私は、「正しい日本語を身に付ける」「読書を通して様々な表現を知る」「伝える事柄の順番を工夫する」を念頭に置いてコミュニケーションを図ろうと決意しています。

が、そもそも「アナタにそのようなことを言われたくない」と言われたら元も子もない訳です。ですから、**円滑なコミュニケーションを図るためには、良好な人間関係が必須である**と言えます。ですが、良好な人間関係を築くためにはコミュニケーションを図る必要があります。堂々巡りになってしまいました。やはり、永遠の課題です。



『青少年育成協議会』 今年度の活動を振り返って

令和5年度の活動に対して、専門部会委員の皆様にご協力いただき、各部会（家庭部会・育成環境部会）の評価と反省点、意見や要望についてのアンケート結果をご紹介します。

【家庭部会】

「青少年育成研修の集い」

反省と評価

- ・ネットやYouTubeなどの情報があふれている昨今ですが、現場の先生など、専門的なお話が聞ける良い機会なので継続できたらと思います。

意見・要望

- ・発達に関することや、今の時代だからこそ気を付けなければいけない問題（スマホやお金の使い方）、食事のこと、人格、性格に関すること、トランスジェンダーなど、サポートを目的とすることがテーマだととても勉強になりそうです。
- ・今、親が何を求め必要とし、興味があるのか不明です。
- ・生成 AI や、子どもたちが学習で使っているロイロノートについて
- ・こども基本法（令和5年4月1日施行予定）についての学習会など
- ・町内少年団指導者の活動状況や悩みなどの話（剣道・野球・スキーなど）
- ・青年部活動の専門家の話。

「子育て研修会」

反省と評価

- ・小さい頃から他の保護者の皆さんと繋がるきっかけになるので、積極的に参加してほしい。
- ・幼児センターの遊戯室で行いましたが、少し場所が狭いようにも感じた。

意見・要望

- ・隔年ごとに「親子で楽しめる内容」「保護者を対象とする内容」にしていたが、父母と職員の会役員会の中で研修内容を検討し、その都度、実施内容を決めていくようになってきている。今後も、保護者の考えを優先して内容を決めていくことでよいと考える。
- ・有名でみんなが知っている聞いたことのあるような人の講演（何年かに1回でよいので）尾木ママとか。
- ・非認知能力を育てる方法について
- ・父親も多数参加してほしいです。

「その他」

- ・チラシ配布・IP放送をはじめとした様々な方法での宣伝が大切かと思えます。併せて、町内の様々な会議に担当者が出向いてアナウンスをするなど



【育成環境部会】

「おあしす運動」「家庭教育目標」

反省と評価

- ・活動があまり見えない。
- ・マンネリ化が続いているので、IP放送とかで流しては。
- ・あいさつ（おあしす）運動の目的などは、町の公式SNSを活用してみるといいか？今の時代、紙媒体（青少協だより）を家庭で子どもが見る機会はないのかもしれない。

意見・要望

- ・愛別町の皆さんの挨拶はすばらしい。これが、子どもたちの登下校の見守りと連動していくことを切に願っています。
- ・看板等で劣化していれば更新してほしいと思います。

「標語づくりへのとりくみ」

反省と評価

- ・誰が何をいつ書いたのか、親がわからない。
- ・作文であっても標語であっても、生成AIを使って書くことができる点は同じです。一行作文は、審査が大変でした。日常的に子どもたちが書いている文と同じで、標語の表現方法を学ぶという機会もなくなってしまいました。
 - ・一行作文の掲示ですが、コープさっぽろシーナ店等に依頼をしているとのことですが、昨年度の標語が春光店に掲示してありました。展示期間もしっかりお願いしておくといい。
- ・選考にだいぶ悩みました。川柳型式だと、点数もつけ易いかなと感じました。
- ・色々なテーマにそって「一行作文」を続けていいと思う。

意見・要望

- ・取組そのものを見直しては。①テーマを数年間同じものにする②標語づくりの参加者を児童生徒だけにしない③日本PTA全国協議会の3行詩コンクールとタイアップする、など
- ・町内外に掲示する取組は、継続してほしい。
- ・大人部門もどうでしょうか。
- ・夢やがんばっている事も募集してほしい。
- ・学校の指導の負担になっていなければ継続することでいいと思います。今回のようにせっかく書いたのに季節が合わない感が出てしまうので、テーマ設定は一考しなければならないと思います。